

---

# 絡新婦の理読書感想

福寺なつ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

絡新婦の理読書感想

### 【コード】

N8880F

### 【作者名】

福寺なつ

### 【あらすじ】

京極シリーズ絡新婦の理感想文です。短文です。これはサイト「花住時」に載せているものです。

## この世の理から始まる読書体験

始めの100ページを読むのに1週間かかりました。

冗談じゃない、2週間しか期限はないのに。

なんとかスムーズに読めるようになったのは呉美由紀さん視点になつてからです。

山里にぽつんと建った、キリスト教系女子校寮。

まるで御伽噺のような設定の中で語られる、不満と不安と孤独。

そして薔薇従事者の登場と薔薇十字社探偵の登場で一気に物語に引き込まれました。

理で最も印象深いのは、ひいきもありませんが木場修太郎氏です。

彼のひたむきで真っ直ぐで、ぽーんと跳ね返されちゃうところが好きです。

跳ね返すのは今回、川新であり目の前で行われる殺人だったりするわけなんです。

単独のミステリとしてより、事件を理解できない物語として印象深いのです。

ここで個人的ミステリの見解について。

マニアではございません。読みながら、犯人予想は頭の片隅でちらりとするが、正直トリックのあら探しをする人に、なることは出来ません。

気持ちよくだましてくれ。

楽しませてくれるならトリックなんて、なくても構わない。

理はその点、構成が好きですね。

謎解きがはじめとおわりに分けられている。

はじめ読んで分からなくてもラストから戻ってくると、綺麗に伏線が張られていたことが分かる。

なんかおまけみたいで、味わい深いと思います。

正直これだけしか読んでなかったら、京極の憑き物落とし訳分かりません。

大事なところでハコのキャラ名出されても・・。

とにかく読み終わって嬉しかったのは、「これで最初のシーンの意味が分かる！」ってことでした。

ちなみに、この時点で私は関口氏が主役だということを、知らない。

ここまで目を通された方、お疲れ様でした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8880f/>

---

絡新婦の理読書感想

2010年10月12日01時05分発行